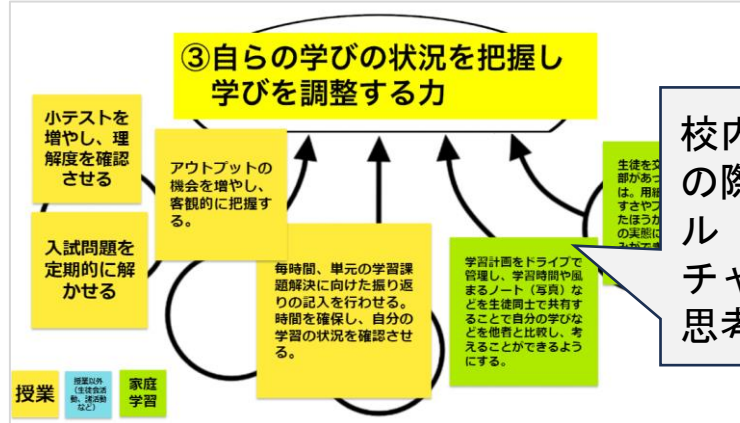
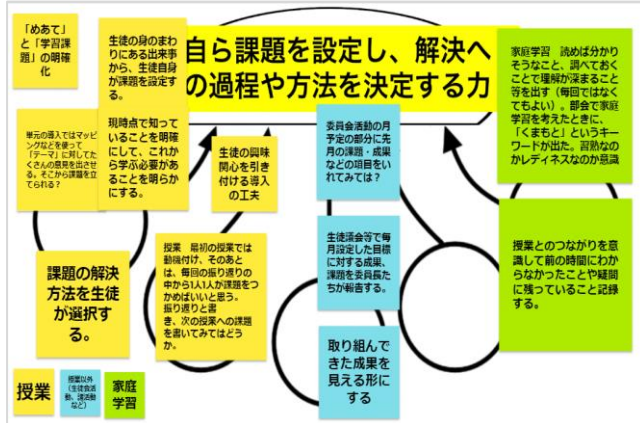


【取組内容③】 クラウドやシンキングツールを活用した職員会議や校内研修の効率化

○校内研修におけるシンキングツールの活用



校内研修のグループ協議の際に、シンキングツール（クラゲチャートやXチャートなど）を活用し、思考の可視化を図る。

○効率的に情報を収集するためのアンケートフォームの活用

質問 回答 12 設定

今年度の反省、来年度に向けて（校内研修）

今年度の反省を記入してください。先生方からのご意見を、来年度の研修計画や研究テーマに活かしたいと考えています。ご協力よろしくお願いいたします。

職員向けのアンケート（職員会議や校内研修に活用する）等はアンケートフォームを活用し、効率的に情報を収集し、整理できるようにしている。

1 研究主題について

③ 研究主題

自立した学習者の育成
～学びが広がる「たかもり学習」の展開を通して～

④ 研究主題について

ア 「自立した学習者」について

これからの日本は、生産年齢人口の減少、グローバル化の進展、人工知能の進化などがますます進み、子どもたちの将来は、予測困難な時代になると言われている。このような時代の中で、令和の日本型教育の構築として全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと、協働的な学びの実現を目指す。学校教育においては、子どもたちが様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働しながら課題を解決していく資質・能力の育成が求められている。

このことから高森町教育研究会では、「自立した学習者」を自らの学びを把握・調整し、課題解決へのプロセスを自分で決定し、他者と協働して課題を解決する資質・能力を身に付けた生徒と位置づけ、教育活動全般を通してこのような資質・能力を育成することを旨とする。

- 【成果】
- ・ 情報の収集にかかる時間を削減することができ、効率よく校内研修を進めることができた。
 - ・ 思考を可視化し整理していくことで、意見共有が容易になり、研修における学びを深めることができた。
 - ・ ICTを積極的に活用することで、教師の情報活用能力を向上させることができた。